

**【令和 5年度評価】**  
 法人名：有限会社 ヘルパーステーション小川  
 事業所名（事業所番号）：(有)ヘルパーステーション小川 ひまわりの家 (0770403756)  
 所在地：福島県いわき市小川町福岡字飯森37-1  
 代表者：日下部 麻子  
 管理者：岡田 清美  
 運営推進会議を活用した事業所の評価日：  
 出席者：

順	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1	理念・安心と安全に基づく運営	地盤密着型サービスの意義をもえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ①. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1日の朝、職員と利用者が共に理念等を唱和することで、共有し、実践につなげています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域といながらなりふら暮らし続けるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自分が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ①. ほとんどできていない	コロナがち悪となつたが、感染することのリスクを考え交流している。			
3	運営推進会議を元にした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そことの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ①. ほとんどできていない	今年度も開催されておらず、昨年同様「ひまわりの家通信」にて近況報告しています。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ①. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村の窓口となる施設の担当者がご指導いただき、それを職員で共有しています。			
5	身体拘束をしないケアの実践	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束しないケアについては、月1回の部会と3か月に1回の拘束委員会などで職員全員が共有し、実践しています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	◎. 充分にできている ○. ほぼできている □. あまりできていない △. ほとんどできていない	言葉による虐待など、気づかぬうちに発してしまうようなことがないよう、管理者を中心に行なう研修を行っています。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ◎. ほぼできている ○. あまりできていない △. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度については、社会福祉士資格を持つ職員からの説明などを聞き、権利擁護に関する制度について理解を深めています。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	◎. 充分にできている ○. ほぼできている □. あまりできていない △. ほとんどできていない	契約時は、契約書や、重要な事項説明書の説明を行い、十分に納得し理解いただいています。法の改定等があれば、その都度説明し同意を得ています。
9	運営に関する利用者・家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている ○. あまりできていない △. ほとんどできていない	今年度も家族会の開催は見送らせていただきましたが、ご家族の意見、要望等は随時、電話や来所時などに伺っています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	◎. 充分にできている ○. ほぼできている □. あまりできていない △. ほとんどできていない	代表者も出席し、毎月部会を開催し、職員間で活発な討論を行ない、意見が反映される仕組みづくりはできています。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持てるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている ○. あまりできていない △. ほとんどできていない	部会に参加し、職員の発言などから、各人を評価します。また、人間関係に問題がある職員には、面談を行い、仕事の面白さや、共有する事の大切さを分かつてもらう努力をしています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている ○. あまりできていない △. ほとんどできていない	職員、それぞれ資質や資格が異なる為、同じように出来ない職員がいたりますが、部会毎に学習会を持ち、少しずつスキルを上げています。

13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理職者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いわき市のホームページなどを こまめに見て、市で案内していたり モート学習会を受講し、その内容な どを部会で報告しました。また、同 業者とは電話で互いに交流したり、 ケア・マネ交流会などに参加して情 報交換などをしています。
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設の理念のとおり、介護す る人、される人という関係ではなく、 支援にあたっています。介護度が 高いご利用者が多く、お互いを理 解し合うこと困難な場面もありま すが、職員が仲介に入り仲間意識 を高めて行けるよう努めています。
15	職業の人や場と の関係維持の支援	本人がこれまで大切にしてきた職業との 人や場所との関係が途切れないと、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期や看取り時など、利用者 の状態をみながら、面会者の抗原 検査陰性を確認するなどし、面会し ていただけいたことはありました。
	II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
16	思いやり意向の把握	一人ひとりの思いやり暮らし、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度の高い利用者が多く、希 望や意見を聞きとることが難しい場 面がありますが、可能な限りの方 法で意向に添えるよう努めていま す。
17	チームつくる介 護計画とモニタリン グ	本人がより暮らしやすさの課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所されてから長い年月が過ぎ ている利用者などには、ややマン ネリ化した計画になりがちなので、 本人や家族に聞き取りし、的確な 計画になるよう努めています。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実績・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録や業務日誌、連絡帳な どに、日々の気づきを記載し、職員 全員が情報を共有できるよう努め ています。また、計画作成担当は、 職員からのそういった情報を基に、 計画の見直しに活かしています。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多様化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多様化に取り組んでいる	<p>④. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	コロナ感染リスクを考え今まで同様の対策をとっていますが、市外のご家族の面会などは、外から居室の窓越しに会っていたくだな柔軟に対応しています。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支える地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	日々、車いすで近くを散歩し、四季の草花を散策するなど、豊かな地域資源の有効活用をしています。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	<p>④. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	医療連携をしている内科医師には、隔週で往診いただいています。また、看取り時には、毎日のように往診いただきました。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるよう、病院患者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>④. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	入院時などは、医療連携医師を通じて、他医療機関への紹介がスムーズで、適切な入退院ができます。また、入院時は、退院時期について、医療リファルカードへなどについて、医療リファルカードへ連絡など、連携が出来ています。
23	重度化や終末期に向けての方針の共有と支援	重度化した場合や終末期について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>④. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	コロナが5類になったとはいっても、終末期の面会などは、感染対策を十分に行うことをご家族には理解いただいています。連携医とともに締密に情報共有を図り、ご家族にも随時状態の報告をしています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	急変や、事故発生時のマニュアルを通して、職員が行うべきことを確認しています。また、実践力が身につくように、随時看護師が指導しています。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を整えている	<p>A. 充分にできている ④. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	非常時の電源装置の操作方法や、水や非常食の確保など災害対策を万全にしておくことに努めています。また、避難誘導の仕方など、部会等で確認しています。

III: その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

		介護度の高い利用者が多く、会話や言葉の理解が難しい場面がありますが、職員は心の声に耳をかたむけ、尊厳ヒライバシーの確保に努めています。			
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのベースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昭陽や嘸下が難しくなってきた場合、ペースト状の食事になってしまいますが、そういった場合でも、主菜、副菜の説明をし、楽しく食事が運べるように努めています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録に記載し、バランスが取れて摂取できているか毎日確認しています。嚥下困難になってきている方には、トロミをつけるなどして飲みやすくし、工夫をしています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じて支援をしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部会等で口腔ケアの重要性を研修し、また、利用者一人ひとりにそのことを説明し、徹底した口腔ケアを行っています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護度が高い方は、尿意、便意の訴えが難しい方がいますが、表情や行動などで察知し、誘導するなど、適時排泄支援できるよう職員間で共有しています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便器の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴を認導しても、気分が乗らないときのような時は、無理強いはせずに、翌日にするなどし、気持ち良く入浴できるよう工夫しています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休憩したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	体内的タイムスケジュールの乱れなどから夜間起きてしまう方もおりますが、夜勤者は安眠でいられるよう声掛けし、入眠できるよう努めています。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	利用者9名の薬剤を職員全員が理解し、また、利用者が服薬を終えるまで見守り確認しています。錠剤の嚥下が難しくなってきた方には、粉砕を薬局に依頼し薬剤いたいでいます。
35	役割・楽しみごとの支援	張り合いや遊びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活履歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	家にいた時からの趣味などは継続いたいでいます。仮像や草花、野鳥、相撲鑑賞など、それぞれ楽しめています。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	コロナが持ち綱になつても、感染の恐怖がなくなつたわけではないので、積極的な外出支援は行っていません。
37	お金の手持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を手持たり使えるように支援している	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	認知症状の進んだご利用者の中には、物盗られ妄想が強い方もいるので、お金の手持はご遺慮いただいています。欲しいものや、必要な物がある場合は、ご家族に連絡し、贈入いただいています。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<p>Ⓐ. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない</p>	ご家族に電話をかけたり、または、ご家族からの電話を取り次いだりは、随時行っています。また、手紙を出す方もいて、切手を貼つてポストへの投函などを支援しています。

39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	④. 充分にできている ⑤. ほぼできている ⑥. あまりできていない ⑦. ほとんどできていない	共有スペースには、季節の花や工芸などを飾り、また、趣味の雑誌や誰でも気軽に座れるソファーを置いて、落ち着いて楽しい空間となるよう工夫しています。
40				
41	本人主体の暮ら し	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、可能な限り、利用者に寄り添い、現在の暮らしでの願いや意向を聞き出し、実践につなげています。
42				
43		本人は、自分の健康面・医療面・安全面環境面について、日々の状況をもともと、ケア・支援を受けることができている	④. 充分にできている ⑤. ほぼできている ⑥. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、利用者の体調の変化に早期に気づき、重度化しないよう情報共有しています。また、室内の清潔の保持などに努めています。
44	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができるいる	A. 充分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が在宅中に行っていた習慣などを尊重し、本人らしい生活ができるよう支援しています。
45		本人は、自分のなじみのものや大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	④. 充分にできている ⑤. ほぼできている ⑥. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内外には、大型のもの以外は自由に持ち込めるようにしていまます。家の仏壇を置いている方もいます。
		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている ②. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	5類ごなってもコロナ感染が終息したわけではないので、混雑した催事等の参加は避けています。

46	本人は、自分ができることできないこと、わからること・わからぬことを離れた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	車いす利用者が8名と、何かの役割を担っていたばくには難しい状態です。それでも、座ったままできる洗濯たたみや、調理の下処置などを行っていました。
47	本人が持つ力の活用	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は利用者が自己表現できるよう常に声掛けし、会話を引き出すよう努めています。失語や脳梗の方でも、ジェスチャーや筆談をして会話をしています。
48	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は、2回のコロナ感染があり、交流することのリスクを考え開わりを持つことはしていません。
49	本人は、このQHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前述の通り、地域の方々との接点はありませんが、職員は、ご利用者が、安心して穏やかな日々が送られるように、努めています。

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなれば、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

### 【目標達成計画】

優先順位 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1 6	身体的な虐待はないが、言葉はどうか。当施設は山間部にあり、馴染みやすい田舎言葉で利用者と接することがある。かしこまったく都會言葉(標準語)よりも、リラックスして過ごせると思っているが、その言葉の中に利用者が気分を悪くしてゐるものはないか。	いくら馴染みやすい田舎言葉でも、発するには不適切なNGワードはないか研修し、職員間で共有していく。	①これはNGワードではないかという言葉を聞いた場合その都度話し合い、発しないようにする。 ②利用者の表情や態度、行動を見てこれはないかと気付くようにする。 ③職員全員が発してはいけない言葉を認識し、うつかり発してしまった場合は注意しあう。	6 ヶ月
2 18	個別記録については、記載する内容がマンネリ化しやすい傾向にある。そうなると介護計画のマンネリ化にもつながってしまうので、工夫が必要がある。	今まで記載してきた内容を再考し、職員間で意見を出すなどして、記録内容の充実を図り、介護計画に反映できるようにする。	①利用者一人ひとりの発する言葉なども記載する。 ②記録は、だらだらと長く記載せず、単的に明確にする。 ③いつもと違った言動や感情、行動などは特に記載するようにする。	6 ヶ月
3 28	介護度の高い利用者が多く、ペースト状で、食事介助となつてているが、常食の方のように、楽しんでいたただけているのが心配である。	ペースト状の食事でも、食事が楽しい時間となるよう、内容を工夫していく。	①食べ物の好き・嫌い、毎回残すような副菜、アレルギーの有無を把握し、記録しておく。 ②ペースト状のを握つていただくときは、必ず「これは、〇〇です。」と説明してから介助する。 ③食きのこない、色々なメニューを、職員間で研修し、調理が得意な者から調理法などを学ぶ。	6 ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

(注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。